

かみくげ 恐竜の里新聞

平成26年7月20日

発行 上久下恐竜の里づくり部会

第66号

上久下地域
自治協議会
0795 78 0001

元町マルシェに農産物出荷



神戸市中央区元町通の元町5丁目商店街に、6月22日(日)「ひょうこの元気ムラ元町マルシェ」がオープンしました。県内各地の農産物や加工品などの特産品を販売し、地域の魅力を発信するアンテナショップで、丹波市・篠山市・養父市・神河町・淡路島など県内10ヶ所、うち丹波市内では3ヶ所から集荷して店頭や店内に並べて販売しています。



す。水曜日以外週6日営業、一日5〜600人が訪れ次々と商品を買っていき、それで、何よりも安く新鮮なことがお客さんの心を掴んでいるようです。(企)元気村かみくげも元町マルシェと出荷契約を結び、毎週一回集荷に来てもらっています。7月15日(火)の朝8時から5回目の出荷がありました。当日は14人の生産者が自慢の野菜や切り花を地域づくりセンターに大量に持ち寄り、バーコードシールを一枚ずつ貼り付けてカゴに詰め替える作業をしました。若い集荷スタッフ二人が普通車ワゴンの荷台満杯に詰め込み、神戸へ向け出発し

ていきました。出荷の取りまとめをしている(企)元気村かみくげの柳川瀬義輝理事長は、「これで農産物や加工品の販売先が、元気村と神戸多聞台そして元町マルシェの3ヶ所になった。多聞台は月に2回だけの出張販売だが元町マルシェは毎週出荷できるので、沢山の野菜が出来たとしても廃棄せずに収益に繋がっているし、もったいないと量を高めようという意欲も出てくる。丹波・上久下の良さを神戸方面の方々にドンドン発信していきたい。ぜひ多くの地元生産者に新規参加してもらいたい」と話していました。

丹波竜の仲間を探そう！
自治協議会で試掘調査

上久下自治協議会は丹波市や人と自然の博物館と共催して、「丹波竜の仲間を探す」発掘調査を8月末(29、30、31日)に始める予定です。丹波竜化石発見して8年を迎えますが、ここ数年発掘調査が行われることなく新聞・テレビ報道もなく、地元住民の間にも恐竜熱が徐々に下がってきているように感じられます。発掘調査の予定場所は、丹波竜発掘現場の上流で、数か月前に丹波竜以外の恐竜の化石(「ろっ骨」と呼ばれる)が新たに見つかった場所です。この化石の周辺に他の部位の化石が散らばっているかを調べます。発掘は地元が中心になっで行い、経過や結果については地元から市内外に情報発信して、盛り上がりを作りたいと考えています。

北海道から先進地視察団
恐竜化石をどう生かすか

北海道むかわ町役場(夕張市近郊)の職員と町立穂別博物館の学芸員ら一行4名は、丹波竜の里のまちづくりの様子を学ぶため6月26日丹波市を訪れ、ちーたんの館や元気村かみくげとその周辺を、一日がかりで視察してまわりました。視察団にはNHK札幌放送局と北海道新聞記者も終始同行し、視察の様子を詳しく取材していました。むかわ町では平成25年9月にハドロサウルス科の恐竜(推定全長8メートル)化石がほぼ完璧な状態で見つかり、今後、化石をどうまちづくりに生かすかを学ぶため、丹波竜化石を活かしたまちづくりを長年進めてきた丹波市を熱心に視察したものです。視察団同行記は北海道新聞が連載し、NHK札幌放送局も道内にニュース配信しました。元気村ではスタッフがおもてなしの気持ちで充分に対応し、視察団は訪問の成果に感謝しながらよろこんで帰りました。(北海道新聞掲載写真 元気村での発掘体験の様子)

上久下小学校児童が 黒豆の苗植え



上久下小学校5年生 11人が6月30日に、学校近くの田んぼで黒豆の苗植えに挑戦しました。元氣村かみくげ農野菜グループ7人とJAの職員、小学校先生の指導のもと、約400本の苗を移植する作業でしたが、前日の雨の影響でどろどろの田んぼの中を、裸足になった児童は歓声を上げながら、一本一本ていねいに植え付けていました。秋には枝豆として収穫できる予定で、みんなで試食できるのが今から楽しみです。農野菜グループの一人は、「雨が続いて畝作りに苦労したけど、楽しそうに植えている子ども達の顔を見ていると疲れも吹っ飛んだ」と話していました。

ボランティアグループの弁当作り



上久下ボランティアグループ（代表宇津知子さん）は6月26日に地域づくりセンターで、地域の独居高齢者へ配達する弁当作りに取り組みました。約10人のボランティアが集まり、2時間をかけて30食以上の弁当を仕上げて各戸に配達しました。煮物とフライやポテトサラダなど栄養バランスを考え、たいへん美味しく出来上がっていました。この活動は10年以上続けられていて、一人暮らしのお年寄りに喜ばれています。

納涼ビアガーデン三連続開催



上久下自治協議会は、昨年好評だった納涼ビアガーデンを今年は3回に増やして開催しました。初回の7月5日は、梅雨空で少し涼しかったこともあり参加者が少なかったのですが、2回目の12日は、暑さも手伝って大勢の納涼客に参加してもらい夜遅くまで盛り上がりがありました。3回目は20日に実施予定です。おそらく2回目にも負けないくらいの参加者で賑わい、乾杯の声があちらこちらで聞こえてくることでしょう。この催しは地域内交流を図る目的で昨年度から実施していますが、今年は主催する団体を毎回変えたことにより、センターから離れた地区からの参加も増えてきました。「暑いときは毎日やってくれ」と言う人もいましたが、準備の都合もあって来年も3〜4回の開催でございまして、ご辛抱をお願いします。

球技まつりが開かれる

6月29日（日）中央グラウンドでソフトボール大会が開かれました。8自治会のトーナメント戦で、準決勝は太田7、下滝5、阿草4、畑内0の結果でしたが、降雨のため決勝戦は残念ながら中止となりました。8月24日に開催予定の山南町大会には太田自治会と阿草部落が出場します。空模様への心配をしていたけど、なんとか6試合実施でき地区代表も決まって良かった」と前田剛会長は話していました。

お気軽に

地域づくりセンター・喫茶コーナーではアイスコーヒー・ホットコーヒー・カプチーノを一杯100円で販売中

元氣村かみくげ・アイスクリーム、かき氷、アイスコーヒーを格安で。軽食としてお馴染みの恐竜焼きやカレー・丼物に加えて新メニューも開発中です。

8月の予定

- ◆ 8月8日（金）恐竜の里づくり部会例会 午後7時30分
- ◆ 8月10日（日）上久下夏祭り、総踊り大会 午後6時30分から
- ◆ 8月17日（日）ふれあい映画会 午後7時30分 「黒部の太陽」の続き
- ◆ 8月29日（金）自治会長会 午後7時30分
- ◆ 地域づくりセンターは8月12日（火）から15日（金）までの間、休館日とします。
- ◆ ＊元氣村かみくげは8月9日（土）から17日（日）まで、連続営業の予定です。